

県連情報

群馬県生活協同組合連合会
前橋市大手町 3-19-3
027 234 2376
NO 39号
2006年12月4日発行

ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク設立準備会を開催 11月20日(月)

食の安全県民運動懇談会報告書で提起した「ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク(仮称)」設立のため、11月20日(月)に県庁会議室で第1回設立準備会を開催しました。設立のための事務局は生協連が担当しています。

ぐんま食の安全消費者連絡会議の峰岸議長(生協連会長)、群馬県食品安全会議事務局食品監視課須野原次長から、ネットワークへの期待をこめたご挨拶をいただきました。また、今回の準備会から参加していただいたJA群馬中央会高橋農業対策部長をはじめ準備会委員の自己紹介を行い、それぞれからネットワークへの想いが語られました。

準備会は、事務局の県生協連八田専務から、食の安全県民運動の検討経過、ネットワーク設立準備会の目的、検討日程等について報告し、座長に香川さん(県消団連)を選出してネットワークの会則案・設立趣意書案、ネットワークの名称、構成メンバーについて協議しました。第2回を1月に開催し今回の協議事項を確定し、新年度からのネットワーク設立に向けた取組みを具体化する予定です。



県民ネットワーク設立準備会

「知ろう、語ろう食品表示」と題して講演とシンポジウム 食品表示地域フォーラム・群馬 11月10日(金)

11月10日、関東農政局群馬農政事務所の主催による「食品表示地域フォーラム群馬」が県公社総合ビルホールで開催されました。第1部では、群馬大学教授高橋久仁子先生による「食品表示の現状と今後の課題」と題した講演がありました。続いて第2部では高橋先生をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行なわれ、コープぐんまの組合員活動部統括マネージャーの香川隆さんら、消費者、



流通関係、行政関係から5名のパネラーが熱心に意見を発表しました。

高橋先生は、パワーポイントを使った分かり易い講演で、制度としての表示なのか宣伝文句なのかを区別して、ありもしない効果を期待しないことや、キャッチコピーの「行間」を読まされず「栄養表示」を読むように呼びかけ、最後に



高橋久仁子教授

「フードファディズム（食べ物や栄養が、健康や病気に与える影響を過大に評価したり信じること）は、効果を針小棒大に言い科学を神話に変えてしまう」と、消費者が食品の情報を正しく冷静につかむことの重要性を訴えました。



香川 隆さん
（コープぐんま）

パネルディスカッションは、前半で、消費者と事業者のパネラーから食品表示についての評価や疑問が発表され、それに対して行政のパネラーが答えるかたちで進められました。後半で今後の課題について、コープぐんまの香川隆さんは、「消費者からみてどのような表示が必要かということ、行政、事業者と一緒に努力していくことが求められる。20品目の表示義務化については消費者から見て納得性があり前進であり満足。消費者がもっともっと勉強していくことも大事。また事業者は“義務だから”、“法定だから”表示しています、という域を出て、消費者がどう望んでいるのかを見据えて改善をしていく、そのことで消費者の信頼感が高まる」と発言。

最後にコーディネーターが「食品表示が複雑で、消費者からも事業者からも“難しい”“分りづらい”の声がある。読まない消費者が悪いと片付けられることがないように願いたい。正しい表示をしっかりと行っている事業者が消費者からきちんと評価される社会、勉強した消費者だけがきちんとして買い物ができるというのも厳しいものだから、誰もがごくごく普通に買い物ができる社会ようにしていきたい。」と結んで終了しました。

コープぐんまと第2回女性協懇談会を開催 11月20日(月)



中嶋理事長

11月20日、トップ懇談会をリニューアルし、非常勤役員や職員にも参加していただいて開催する「女性協懇談会」の2回目の懇談会がコープぐんま『リセロ細井』の組合員室で行なわれました。コープぐんまでは当日、エリア別総代会が開催されている中を、中嶋理事長、小林常務理事、監事の山津さん、理事の滝澤さんと遠藤さん、菅原さん、職員の大嶋さんと内山さんにご出席いただきました。



菅原さん 遠藤さん

林会長が、「地域や職場で活躍する皆さんにこそ男女共同参画の視点が大切だし、そのことで職員のやりがいや家庭との両立、地域とのつながりや暮らしへの共感、能力を發揮できる職場環境が生まれ、経営改善にもつながっていく」と、問題提起を行ったあと、参加者からそれぞれの男女共同参画への思いなどが話され、熱心な意見交換をいたしました。

コープぐんまでは次世代育成と男女共同参画を中計に盛り込む準備が進められていることや、男性職員の育児休業取得のはなし、女性が職場に少ないことは不自然だといった大嶋さんの報告に参加者の関心が集まりました。育児休業

取得では、まわりの意識が変わり“おめでとう”と言って支えあえる職場



大嶋さん

づくりが大切であることや、子育て支援という活動の中では男女共同参画の視点を持って取り組むことが非常に大事だという意見が参加者から出されました。

コープぐんまをはじめ県内の全生協が、職員の分野においても、理事・監事・組合員リーダーの活動においても男女共同参画の取組みを進めることが、生協が発展し続ける条件であるということを確認しあった懇談会でした。



滝澤さん 山津さん

茨城県連が群馬県の食品安全行政を視察

食品安全条例の制定に向けワーキングチーム

11月27日(月)



県行政と県連の取組みを報告する田仲リーダー（左）と八田専務

ーから食品安全行政について報告を受け、食品安全基本条例制定の経緯や制定過程における特徴、条例の概要、食品安全基本計画、及び今後の課題などについて学習しました。

最後に八田専務理事が群馬県連の取組みや県民運動について報告し、3時間という限られた時間の中で駆け足の研修をしていただきました。

尚、茨城県生協連では、食品安全条例制定に向けて県との話し合いがすすめられています。

茨城県生協連の「食と農ワーキングチーム」と県連理事9名が11月27日、群馬県食品安全検査センターを訪れ、群馬県の食品安全行政と群馬県連の取組みについて視察研修を行ないました。

一行は、検査センターの検査第1グループ主席研究員の小山リーダーから検査センターの概要や業務について説明を受けたあと、施設を見学して実際の業務を視察しました。

続いて、県食品安全会議事務局食品安全課安全推進グループの田仲リーダー



小山リーダーの説明を聞く茨城県連の理事・ワークグループの皆さん

第50回群馬県消費者大会が開催

29年ぶりに改正された県消費生活条例を学習

10月30日(月)

第50回群馬県消費者大会が10月30日、各団体から120名が参加して県労福祉センターで開催されました。今年は第1部と第2部の内容を入れかえ、最初に記念講演が行なわれました。



佐藤県民センター所長から祝辞をいただきました。

第1部では「私たちの暮らしと改正された県消費者条例」と題して、県民センターの落合リーダーと土屋主任から講演をいただきました。

大会では、実行委員会が初めて実施した市町村への「消費者行政調査」の結果など、実行委員会の1年間の活動が報告されました。その上で、消費者団体訴訟法制定をにらみこの制度の受け皿づくりをしていくことを確認

しました。大会は最後に、29年ぶりに改定された消費生活条例を真に活かすため、消費者（団体）が自ら消費者の権利を実現していく消費者へと変わっていく、などの行動提起を盛り込んだ大会宣言を採択しました。



第37回JA群馬県大会が開催されました

「食と農を結ぶ活力あるJA」をめざして

11月15日(水)



3年ごとに開催されるJA群馬県大会が11月15日、前橋市民文化会館で開かれました。JA群馬中央会の奥木功男会長は挨拶で「JA運動の原点に戻り、組織・事業改革をしたい。また、協同組合理念に基づき、地域農業の発展をめざしたい」と述べました。

渋谷襄専務理事は、議案説明の中で「地域住民・消費者の強い支持が活力あるJAをつくる」と呼びかけました。

大会は議案、決議、特別決議とも採択しJAグループが一体とな

って実践を進めることを確認しました。

勢多農林高校3年生の兵藤幸さんが「次世代からのメッセージ」として、タイへの農業視察研修の体験を通じて様々な価値観に接し、“自国の農業の発展は他国の農業の発展にある”と強く感じ、将来は普及指導員になってJICA(ジャイカ=国際協力機構)に参加したり地域農業に貢献したい、と話すと会場は拍手に包まれました。

尚、県連ではこの大会に先立って、9月理事会に中央会総務企画部田村新衛次長に出席いただき、大会議案書(案)の説明を受け、消費者の立場から議案について意見交換を行なっています。

コープぐんまが「人にやさしい福祉のまちづくり表彰」を受賞

12月1日(金)



ハード部門受賞4団体を代表して小寺知事から表彰を受けるコープぐんま中嶋源治理事長

賞理由について『だれもが利用するスーパーマーケットをバリアフリー化したことは、みんなが平等に買い物を楽しむ機会を提供し、交流等の広がり期待できる。藤岡市内で初の適合証交付施設であり、地域内におけるモデル的事例である。』と講評されています。

群馬県は「人にやさしい福祉のまちづくり条例」を制定し(03年3月)だれにとっても暮らしやすいまちの実現を目指していますが、その一環として創設された「人にやさしい福祉のまちづくり表彰」制度の第2回表彰式が、12月1日、県庁であり、コープぐんまのリセロ藤岡がハード部門の表彰を受けました。

「事例集」にオストメイト対応の多目的トイレや点字ブロックなどの施設がカラー写真で紹介され、受

「事例集」で紹介されたりセロ藤岡の施設



オストメイト対応の多目的トイレ



目の不自由な方を点字ブロックで誘導

県連便り

県連当面の日程

- 10月27日 茨城県生協連が食品行政等を視察
- 28日 第3回組織部会
- 29日 日生協中央地連運営委員会
全国消費者大会
- 11月1日 第7回ぐんま食の安全消費者連絡会議
- 4日 県連事務局会議
- 6日 女性協議会運営委員会
- 7日 ~8日 大気測定
- 8日 ~9日 日生協医療部会運営委員会
- 14日 日生協全国県連責任者会議
- 15日 第4回常務理事会
日生協中央地連組合員活動委員会
- 21日 神奈川県生協連「食品安全学習会」
- 28日 仕事納め
- 1月4日 仕事始め
- 9日 女性協議会運営委員会
- 11日 第5回理事会、新春交歓会

第4回県連理事会報告

- 日時 2006年11月17日(金)10時~12時
場所 全労済群馬県本部「大渡ホール」
議事及び内容
- 報告事項
- 1、一般経過報告
 - 2、特別報告
 - 3、女性協議会・会員生協
- 協議事項
- 1、消費者政策の充実強化を進める取組み
 - 2、食品の安全を確保する取組み
 - 3、生協法改正検討状況及び今後の取組み
 - 4、県連災害対策について
 - 5、生協大会のまとめ・消費者まつりの進め方
 - 6、ライフプランセミナーモデル案と進め方
 - 7、新春交歓会開催について
 - 8、その他